

プロフィール

氏名	みうら こうきちろう		
	三浦 耕吉郎		
所属	社会学部社会学科	職名	教授
学位	社会学修士，文学士	専攻	社会史，社会意識論
所属学会	日本社会学会，環境社会学会		
学内職歴			
研究分野	現在を知るためには過去を知ることが必要であり、とくに様々な風土に生きた人々の生活経験や生活知に学ぶことが大切だと考えている。こうした観点にたつて、ヨーロッパや日本の中・近世の社会史研究によりながら、民衆文化の変容過程や支配的文化との相互作用を明らかにする一方で、現代日本における住民運動や部落解放運動のなかでの生活文化や生活知のダイナミズムについて研究している。		

この研究業績等の一覧は、主要研究業績を除き本年度を含み過去5年度分を表示しています。

主要研究業績

区分	著書名・論文名・論題名等	掲載誌／巻・号／発行所／学会名等	発行／発表年月
<1988年度>			
論文			
単	地域の社会意識研究のために―異文化としてのむら―	『年報社会学論集』，創刊号，関東社会学会	1988. 06
<1987年度>			
論文			
単	民衆文化の自律性と文化的ヘゲモニー―サバト，あるいは集団的アニミズム―	『現代社会学』，第23号，Vol. 13, No.1, アカデミア出版	1987. 07
<1986年度>			
論文			
単	社会史理論の課題と社会学―近代化理論の再検討―	『思想』，No. 745，岩波書店	1986. 07

業 績

区分	著書名・論文名・論題名等	掲載誌／巻・号／発行所／学会名等	発行／発表年月
<2008年度>			
著書			
単	環境と差別のクリティーク -- 屠場・「不法占拠」・部落差別	新曜社	2009. 03
論文			
単	エッジを歩く -- 手紙形式による差別論講義	『関西学院大学 人権研究』第13号	2009. 03

レフェリー付論文

単	「部落を認知すること」における ＜根本的受動性＞をめぐって - - 慣習的差別、もしくは＜カテ ゴライズする力＞の彼方	『解放社会学研究』第20号	2008, 08
---	--	---------------	----------

編著

共	屠場 みる・きく・たべる・かく 食肉センターで働く人びと	晃洋書房	2008, 04
---	---------------------------------	------	----------

<2007年度>

論文

単	「東の中村、西の堀池」--いま 、伊丹ではじまっていること	『ひょうご部落解放』vol.125、pp.25-35、ひょう ご部落解放・人権研究所	2007, 06
単	部落と知ること/教えること	『解放研究しが』第17号、pp.27-44、反差別国際 連帯解放研究所しが	2007, 05

学会報告

単	カラー・ラインの世紀からカテゴ リー・ラインの世紀へ -- 人種 差別研究と部落差別研究の架橋の ために --	九州人類学会オータムセミナー（於サンビレッジ 茜）	2007, 10
---	--	------------------------------	----------

書評

単	渡邊洋之著『捕鯨問題の歴史社会 学 -- 近現代日本におけるクジ ラと人間--』東信堂、2006年	『社会学評論』vol.58,No.2、日本社会学会	2007, 09
---	---	---------------------------	----------

<2006年度>

論文

単	"Lessons on Human Rights Deri ved from an Epistolary Style: the Sociography of Structural Discrimination"	Akira Furukawa ed., Frontiers of Social Rese arch:Japan and Beyond,253-271,Trans Pacific Press.	2007, 03
単	統計的データのすき間を生きる人 びと - 被差別部落人口の流出入 をめぐって	『解放研究しが』第16号、11-26、反差別国際連帯 解放研究所しが	2006, 05

学会報告

単	<仕事と協同>の社会理論のため に - 仕事のリアルを奪うもの	第79回日本社会学会大会（於立命館大学）	2006, 10
---	------------------------------------	----------------------	----------

<2005年度>

著書

単	『構造的差別のソシオグラフィ 社会を書く/差別を解く』（編 著）序章「＜構造的差別＞のソ シオグラフィにむけて」（1-38） 、第5章「「不法占拠」を生きる びと」（165-204）	世界思想社	2006, 03
---	--	-------	----------

論文

単	「地区返上」のむらから	『解放研究しが』第15号、	2005, 05
---	-------------	---------------	----------

レフェリー付論文

単	環境のヘゲモニーと構造的差別 大阪空港「不法占拠」問題の歴史 ふれて	『環境社会学研究』第11号、39-51	2005, 10
---	--	---------------------	----------

書評

単	蘭由岐子著『「病の経験」を聞き 取る ハンセン病者のライフヒス トリー』	『ソシオロジ』155号	2006, 02
---	--	-------------	----------

<2004年度>

論文

単	手紙形式による人権問題講義 <構造的差別>のソシオグラフィ の試み	『先端社会研究』第2号、(331-357)	2005, 03
単	被差別部落での聞き取り調査から 見えてきたもの-<日常的悩み> との対話から-	『解放研究しが』第14号、79-86、反差別国際連帯 解放研究所しが	2004, 05

学会報告

単	<同対法(地対財特法)以後>の 社会学的課題-「未指定地区」問 をめぐる運動的・行政的対応に ふれて-	第21回日本解放社会学会大会(テーマ部会「差別 研究とカテゴリー化」)(龍谷大学)	2005, 03
単	環境をめぐる支配の正当性と構 造的差別-大阪空港「不法占拠」問 題の歴史から-	第30回環境社会学会セミナー(シンポジウム「環境 をめぐる正当性/正統性の論理-時間・歴史・記憶 -」)(武蔵工大)	2004, 12
単	「部落を認知すること」における <根本的受動性>をめぐって-< 日常的悩み>との対話から-	第77回日本社会学会大会(熊本大学)	2004, 11

書評

単	石川准・倉本智明編『障害学の主 張』明石書店、2002年	『部落解放研究』第161号、(社)部落解放・人権 研究所	2004, 12
---	---------------------------------	---------------------------------	----------

<2003年度>

著書

共	好井裕明・三浦耕吉郎編『社会学 的フィールドワーク』、第7章「 カテゴリー化の罫-社会学的<対 話>の場所へ」、(201-24 5)	世界思想社	2004, 03
---	--	-------	----------

書評

単	葛山泰央『友愛の歴史社会学-近 代への視角』岩波書店、2000 年。	『社会学評論』216, Vol.54, No.3、日本社会学会	2003, 11
---	--	---------------------------------	----------

その他の活動

活動内容		発行/活動年月
------	--	---------

<2005年度>

部落問題入門講座 「被差別部落人口の流入出をめぐって とくに滋賀県の場合を中心に」と 題して部落解放研究第13回滋賀研究会にて報告(於滋賀県立文化産業交流館、2006.3.11.)	2006, 03
---	----------